

# 東京キリスト教学園 ボランティアセンター活動報告 No.5



## ■お祈りを感謝いたします。

ボランティアセンターは春学期、5チームを被災地に派遣しました。5/18~19に宮城県のグレースミッション東北において人形劇を、6/17~19南三陸町において農作物を植える作業、7/6~17夏期伝道において、岩手県宮古市と福島県勿来の教会へ、そして8/20~24、日本改革派東仙台教会主催の小学生キャンプに派遣しました。皆さまのお祈りと支えに感謝し、活動の報告をさせていただきます。

## ■夏期伝道

### 勿来キリスト福音教会

牧師より被災の現状をぜひ知ってほしいとのことで様々はたらきや状況を見聞きさせていただきました。放



射線検査センター、仮設住宅地、瓦礫の山、剥き出しの家屋の基礎…。見た様子では復興は進んでいると感じました。しかし、最も大きな課題は放射線の問題でした。見えない恐怖の中で生きている人々。住み慣れた土地を離れることを余儀なくされる人々。一旦他県へ避難したもののやはり長く暮した土地へ帰ってくる人々。仮設住宅への訪問や、牧師のこれまでの話を聞く中で考えさせられました。何が何でもない者たちでしたが、具体的に知ることで祈ることはできると励まされ、不可能のない方に祈り続けることを導かれました。

### 宮古コミュニティチャーチ

仮設住宅への訪問ボランティアを中心に行いました。中には仮設住宅に引きこもっておられる方もおられ、そのような方に対してカフェを開き、そこにお呼びして交わりを持つという活動でした。仮設の方々は「教会カフェ」と呼び、とても楽しみにしててくださいました。お茶を飲みつつ歌を歌ったり、多くの良い交わりを持つことができました。



## ■東仙台教会主催

### 小学生キャンプ@月山ポレポレファーム

今回のキャンプは、津波で壊滅的な被害を受けた宮城県の野蒜地区にある野蒜小学校の子供たちを対象として、山形県にある月山ポレポレファームという施設で2泊3日のキャンプを行いました。子供たちが60人弱集められ、本格的な登山や肝試しなどをしました。TCU生はアクティビティの企画や特別賛美、カウンセラーの奉仕などをさせていただきました。



中心となっている東仙台教会は震災直後から、公園や家などを失った子どもたちに、遊び場の提供や勉強の手助けをするサクラハウスという活動を続けており、野蒜地区では多くの人に親しまれていました。福音を伝える働きも大切であるけれど、まずは子どもたちが、震災で家や家族を失った事実をきちんと受け止め健全に成長していくことができるように、彼らと地道に関わり彼らの心を豊かにしていくサポートが必要であると、牧師先生は話していました。時間をかけ、真摯に子どもと向き合い続ける教会の素晴らしい働きを見せていただくことができました。

## ■募金報告（9月18日現在）

現時点での募金の残額は、¥660,025となっております。主な出費の内訳は以下のようになります。

- 人形劇サークル派遣・・・¥82,186
- 農業ボランティア派遣・・・¥54,824
- 夏期伝道被災地枠献金・・・¥297,465
- 東仙台教会キャンプ派遣・・・¥87,165
- その他・・・ボランティア保険料など

## ■ボランティアセンターリーダーズ募集について

現在、ボランティアセンターでは次期のリーダーズを必要としています。重荷のある方がいましたら、ぜひ、現リーダーズ（山本圭介、竹内誠、平塚治樹、菊池結希）まで声をお掛けください。詳細は直接お伝え致します。